



第12期 中間株主通信

2018年4月1日から2018年9月30日まで

ダイキョーニシカワ株式会社

証券コード：4246



ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの平成30年7月豪雨、台風21号、平成30年北海道胆振東部地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。当社も微力ながら、今後も復興支援活動を継続してまいります。

さて、当社の第12期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の連結業績につきまして、ご報告申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長 内田 成明

第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の連結業績は、主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ3,222百万円(4.0%)増加の84,590百万円となりました。営業利益は、増収効果等はありませんでしたが、西日本豪雨の影響や、新製品の量産準備にかかる費用の増加等により、前年同期と比べ2,178百万円(25.9%)減少の6,229百万円となりました。経常利益は、前年同期と比べ2,499百万円(28.1%)減少の6,393百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ1,805百万円(29.7%)減少の4,278百万円となりました。

通期の業績の見通しについて

通期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の連結業績予想につきましては、売上高は、主要販売先の増産見込みに伴う製品売上増等により、前回予想を上回る見込みとなりました。利益につきましては、災害影響による損失に加え、生産能力増強や働き方改革のための諸施策など、設備や人に対する先行投資にかかる費用の増加等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。売上高180,000百万円(前期比4.7%増)、営業利益14,000百万円(同22.4%減)、経常利益14,000百万円(同25.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益9,600百万円(同23.0%減)を見込んでおります。

配当について

中間配当につきましては、2018年11月6日開催の取締役会において、一株につき17円とすることを決議いたしました。

連結決算ハイライト

主要連結財務データ

(単位：百万円)

	第10期 2016年度	第11期 2017年度	第12期(当期)第2四半期 2018年度第2四半期
売上高	155,643	171,967	84,590
営業利益	14,376	18,052	6,229
経常利益	13,865	18,742	6,393
親会社株主に帰属する当期・四半期純利益	10,096	12,464	4,278
1株当たり当期・四半期純利益 (単位：円)	137.50	175.94	60.39
総資産	120,381	139,235	136,076
純資産	56,530	69,719	72,199
1株当たり純資産 (単位：円)	777.54	950.76	983.38

※2017年度連結会計年度より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を早期適用したため、2016年度につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

連結財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期



事業のご紹介

ダイキョーニシカワは、国内の各自動車メーカー向け樹脂部品分野で、材料ブレンド開発から、製品開発、設計、製造までを手がける総合プラスチックメーカーです。

自動車外装・外板部品



- バンパー
- フェンダー
- フード
- バックドア
- ルーフ
- ルーフラック
- スポイラー
- ラジエーターグリル
- リアガーニッシュ
- サイドステップモール
- 等

自動車エンジンルーム部品



- オイルストレーナー
- エンジンカバー
- インテークマニホールド
- シュラウドパネル
- シリンダーヘッドカバー
- パワステタンク
- 等

自動車内装部品

- インstrumentパネル
- コンソールボックス
- センターモジュール
- チェンジノブ
- スイッチパネル
- インジケータパネル
- アシストグリップ
- ピラートリム
- ドアトリム
- トランクサイドトリム
- 等



住宅関連

バスユニット部材

- バスタブ
- カウンター
- ミラーパネル
- 洗い場

洗面・キッチン部材

- 人造大理石キッチンカウンター
- ガラス繊維レス人造大理石製品

トイレタリー部材

- 便座



製品のご紹介

当社では、これまで培ってきた樹脂専門メーカーとしての高い技術力、多彩な工法、生産設備を有しており、自動車部品だけでなく、住宅機器関連製品も提供しています。

今回は、バスタブをご紹介します。

バスタブ

「お風呂にゆったり浸かると、一日の疲れが取れる」、「お風呂でのリラックスタイムが毎日の楽しみ」という声をよく耳にします。快適で心地よい入浴には、バスタブも重要な役割を果たしています。入浴タイムをさらに快適にするため、そして、お掃除をしやすくするため、バスタブも進化を続けていることをご存知でしょうか？

当社では、1960年代後半から樹脂製ユニットバスのOEM^(※)生産を行っています。中でもメイン部品であるバスタブは、ホーロー製やステンレス製等、様々な材質が使用されており、それぞれの材質で特徴が異なります。樹脂製の特徴は、形状自由度の高さを活かした樹脂製ならではのデザインが可能であること、そして、高級感のある豊富なカラーバリエーションに対応できることなどがあげられます。また、特殊な表面加工を施すことにより、汚れが付きにくく落ちやすくなります。

当社で製造しているバスタブは、高度な塗装技術で、光沢のあるやわらかい色合いを実現しています。また、表面にはつ水・はつ油成分を配合しており、水滴も皮脂も弾いて汚れを落としやすくしています。

今後も、より汚れ落ちを進化させたバスタブの研究開発を進めてまいります。

※OEM…Original Equipment Manufacturing 納入先のブランドの製品を製造すること



人大浴槽とは

アクリル樹脂やポリエステル樹脂を主成分とした人工素材で作られた浴槽です。「人大」は人工(人造)大理石の略です。

この工場で作っています

関東大協株式会社

関東大協株式会社は、宇都宮駅から車で約20分走ったところにある芳賀工業団地内に位置しており、主にバスタブの製造を行っています。高い塗装技術を持ち、高光沢で汚れが落ちやすいバスタブを生産しています。



《関東大協株式会社概要》
所在地：栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台130-3
主要生産品目：バスタブ、オイルストレーナー
従業員数：66名

プラスチックのおはなし

ダイキョーニシカワの強み

当社は、常に新しい発見と可能性を追い求めています。
プラスチックについての当社の多彩な技術や、開発にかける熱い思いをお伝えします。

最終回 環境にやさしい企業を目指して

これまで「プラスチックのおはなし」コラムでは、第1回「金属から樹脂へ」、第2回「材料の内製化」、第3回「軽量化への挑戦」、第4回「内装の仕上がりへのこだわり」、第5回「高耐熱・高剛性に挑む」と題して、樹脂専門メーカーである当社の強みを紹介してまいりましたが、最終回の今回は、プラスチックのリサイクルと、環境にやさしいプラスチックについてお話しさせていただきます。

プラスチックは、今や車の軽量化だけでなく、私たちの生活に無くてはならない存在となっています。しかしながら、昨今はプラスチックごみによる環境問題が叫ばれており、プラスチック製品の使用を抑える運動も起きています。

ごみの量を減らすリデュース(Reduce)、繰り返し使うリユース(Reuse)、資源として再利用するリサイクル(Recycle)の3つのRの総称を「3R」と言いますが、当社でも、ごみを出さない工法の開発や、再生可能なプ



ラスチックについては材料のリサイクルを行う等、3Rの推進に取り組んでいます。

また、環境にやさしいプラスチックを製品に使用するための研究も積極的に行っています。新しい材料であるバイオエンブラ^(※)を使用することで、石油資源の保護やCO₂排出量の削減に貢献できます。他にも、植物由来の素材であるセルロースナノファイバー複合材の研究プロジェクトにも参画しています。

今後も3R活動を推進し、新しい材料の研究にも取り組み、環境にやさしい製品づくりで循環型社会の形成と、人・社会・地球を大切にす企業の実現を目指してまいります。

※バイオエンブラ…
バイオエンジニアリングプラスチック
の略。植物原料のプラスチック



バイオエンブラを使用したフロントグリル

ダイキョーニシカワ 開発担当者に聞く

Q 生産工程において排出されたプラスチックのリサイクル率はどのくらいですか？

A リサイクル率は99.5%以上です。ごく一部のリサイクルできないものは粉碎し埋立処理されますが、埋立廃棄量の削減にも努めており、10年前に比べると埋立廃棄量は1/10以下になりました。

Q 具体的にはどのようなリサイクルを行っていますか？

A マテリアルリサイクルとサーマルリサイクルに大別されます。マテリアルリサイクルは原料として再生利用するリサイクルで、サーマルリサイクルは燃料として使用するリサイクルです。当社内でもマテリアルリサイクルを行っており、一部の製品の原料として使用しています。

Q ごみを出さないために、どのような取り組みを行っていますか？

A 例えば、「ランナー」と呼ばれる部位の小型化に取り組んでいます。ランナーは樹脂を金型に送り込む際の通り道に当たる部位で、製品として機能するものではないため、切除後はリサイクルに回し、原料として再生利用しています。リサイクルしているので、ごみにはなりません。ランナーを小さくできれば、リサイクルに回す量を減らすことができます。

今後も高品質で環境にやさしい製品づくりを推進してまいります。



会社概要

社名	ダイキョーニシカワ株式会社
本社	広島県安芸郡坂町北新地一丁目4番31号
設立	2007年4月1日
資本金	54億2,665万3,900円
従業員数	5,169名 (連結)

会社役員

代表取締役社長	内田成明
代表取締役副社長	野口悟次
取締役専務執行役員	竹岡健次
取締役専務執行役員	桧山俊夫
取締役専務執行役員	錦村元治
取締役専務執行役員	和木深水
社外取締役	出原正博
社外取締役	圓山雅俊
社外取締役	佐々木茂喜
常勤監査役	繁元則彦
社外監査役	安村和幸
社外監査役	廣田亨

グローバル事業拠点



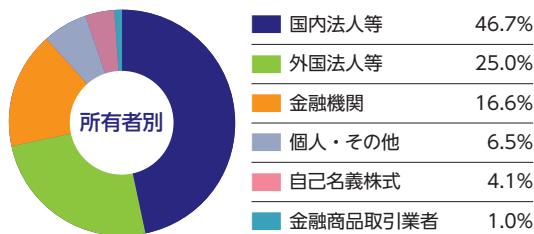
※上記の他に、連結子会社2社、持分法適用関連会社2社があります。

株式情報 (2018年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	236,704,000株
発行済株式の総数	73,896,400株
単元株式数	100株
株主数	3,336名

株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
西川ゴム工業株式会社	11,835,200	16.7
株式会社イノアックコーポレーション	3,924,600	5.5
三菱商事プラスチック株式会社	3,924,600	5.5
住友商事株式会社	3,573,680	5.0
株式会社広島銀行	3,541,800	5.0
マツダ株式会社	3,541,800	5.0
三井物産株式会社	3,222,720	4.5
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,995,500	4.2
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,291,200	1.8
THE BANK OF NEW YORK 133524	1,250,000	1.8

※当社は、自己株式3,042,881株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
剰余金の配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777 (平日9:00~17:00)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公告掲載方法	電子公告 http://www.daikyonishikawa.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ホームページのご案内

当社のホームページでは、適時開示情報をはじめ、決算短信などの各種関連資料など最新の情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。



<http://www.daikyonishikawa.co.jp/>



ダイキョーニシカワ株式会社

TEL:082-885-9979

